



株式会社アソシエイツ36

業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	東京都千代田区	資本金	5,000千円
				従業員数	2名

 	被承継者（左）		
	加納 三郎	73歳	※承継時
	承継者（右）		
	加納 裕介	46歳	※承継時

事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係
2019年9月	子ども
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題
焼肉店の経営	・既存商品・サービスの利益の拡大（売上原価や販管費の改善） 被承継者の長引く闘病生活により経営者不在の状況が続き経営不振に陥っていたが、海外初出店を控え、海外事業担当責任者だった承継者が経営代行する必要があった。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
承継については創業時からいざい課題になることは理解していたが、父の逝去が承継のきっかけになってしまったことが無念であった。	創業時より被承継者だった初代社長はいずれは息子に承継するつもりでいたので、店長として現場責任者の役目を買わせていたが、承継時期は漠然としており、具体的な話し合いは両者で行われることはなかった。	営業畑の長かった息子が会社経営ができるのか、見守りながらも心配があったと推測される。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	父の逝去による代表者交代だったため、取引業者や金融機関への報告はスムーズだった。	何とか事業を継続することが父への恩返しだと思い奮起するしかなかった。

これに一番苦労した！

長びく入院生活で経営者不在の時期が長引いてしまったため、売上高は前年対比で7か月連続減少した状況であったことと海外初出店のための立ち上げ支援でバンコク駐在中での父の逝去だったこともあり、すべてが突然で、海外店舗を任せて日本の既存店舗の立て直しを優先するべく帰国するべきか、何から手を付けるべきか判断に迷った。だが、日本の事業があつての海外店舗であることを考え、初心に返り地道な売上回復を目指すことに徹した。父を亡くした失意もあり辛かったが、父の名前を冠した店名であるので、それを守ることが一番の供養になると思い、奮起した。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	事業承継のタイミングやそれに関する助成金や補助金、国の支援、金融機関の融資条件などあらゆる情報収集のために、中小企業鑑定士の面談を受け相談した。また、金融機関の融資に向けて、短期的だけでなく中長期的な事業計画作成時に、自分で作成した資料の添削をしていただき、客観的な視点を入れた資料を作成したことが融資面談の際に役立った。
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

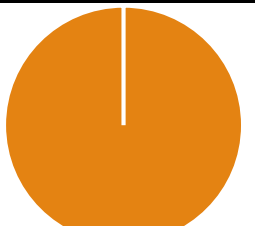
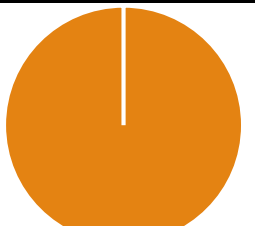
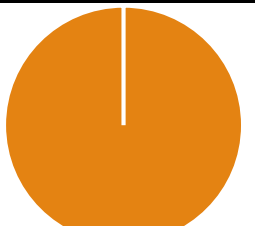
経営革新等に係る取組の標題

山形県尾花沢市特産牛「雪降り和牛」の普及支援活動と新規顧客獲得の売上向上計画

経営革新等に係る取組の内容	新商品の開発又は生産
---------------	------------

- 父親が経営していた焼肉店を引き継ぎ、長年問題であった老朽化した店舗設備を一新することで食品衛生の強化と営業の効率化を図り経営改善と売上向上を目指す。
- 具体的には、吸気と排気のバランスが悪いダクトを改善し、店内に煙が充満しないように吸気口を増設。衛生面と品質保持の向上を図るために老朽化した厨房設備の一部入れ替えるとともに、快適な店内を提供するためテーブルと椅子を入れ替える。
- これにより、古いけれど清潔感のある店内へと印象を一新し、新規顧客の獲得と常連客のリピーター率の上昇につなげたい。また、尾花沢市役所の担当者との情報交換ができる環境を作ったことで、「雪降り和牛」生産者の想いや情熱を知ることができた。
- 今後も、山形県尾花沢市の特産品である「雪降り和牛」にこだわって正肉提供を行なっていくながら、メイドインジャパンプランドの認知度を高めるべく、インバウンド活動も積極的に行なって「雪降り和牛」の海外初進出に貢献したい。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳				
当社は、山形県尾花沢市特産の雪降り和牛尾花沢の取扱指定店であるため、その美味しさと認知度アップと普及支援のために尾花沢市役所と連携している。店内にもポスターを貼り、接客の中でお肉の味わいや専門店であることを説明、地方創生の活動に貢献している。	<table border="1"> <tr> <th>設備費</th> <th>経費の主な使い道</th> </tr> <tr> <td>  </td> <td>設備費 (吸排気設備増設工事費、冷蔵機器導入費、椅子・テーブル購入費等)</td> </tr> </table>	設備費	経費の主な使い道		設備費 (吸排気設備増設工事費、冷蔵機器導入費、椅子・テーブル購入費等)
設備費	経費の主な使い道				
	設備費 (吸排気設備増設工事費、冷蔵機器導入費、椅子・テーブル購入費等)				

認定経営革新等支援機関の名称：東京商工会議所 ビジネスサポートデスク（東京北）			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
金融機関に向けた事業計画書の作成についての添削、アドバイス			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	今期は被承継者であった父の入院中で経営者不在が原因で1～7月の売上を大きく落とし後半のV字回復を含めても前年と横ばいの年間売上にしかならなかったため、来期は前年同月比を上回る事を目標にしたい。また今期8月から始めたランチ事業が軌道に乗り始めたので更なる新規顧客の獲得を目指したい。
売上高	2.5 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
逝去のためコメントなし。	父の逝去という悲しみの中にあつたが、事業承継補助金に採択していただけたことで、老朽化した店内の改装や厨房機器の入替などを実行することができ、スタッフ一同心機一転することができ結束力が高まった。お客様にも喜んでいただけ、清潔感のある居心地の良い空間の提供が可能になったので感謝しています。今後も顧客を大切に父から始まった事業を守り発展を目指したいです。